

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和6年11月19日(2024.11.19)

【国際公開番号】WO2024/135513

【出願番号】特願2024-550126(P2024-550126)

【国際特許分類】

B 2 9 B 17/02(2006.01)

C 0 8 J 11/08(2006.01)

C 0 9 D 5/00(2006.01)

C 0 9 D 175/06(2006.01)

C 0 9 J 5/00(2006.01)

10

【F I】

B 2 9 B 17/02 Z A B

C 0 8 J 11/08

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 175/06

C 0 9 J 5/00

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年8月22日(2024.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水(A)と、

塩基性化合物(B)と、

親水性アルコール(C)と、

テルペン系化合物(D)と、を含み、

前記塩基性化合物(B)の含有量が0.01質量%以上5質量%以下であり、

前記親水性アルコール(C)の含有量が1質量%以上60質量%未満であり、

前記テルペン系化合物(D)の含有量が0.1質量%以上90質量%以下である、2液硬化型のウレタン系接着剤で貼り合わせられた積層体用の剥離剤。

30

【請求項2】

水(A)の含有量が、35質量%以上90質量%以下であり、

塩基性化合物(B)の含有量が0.01質量%以上5質量%以下であり、

前記親水性アルコール(C)の含有量が25質量%以上60質量%未満である請求項1

に記載の剥離剤。

40

【請求項3】

前記テルペン系化合物の含有量が50質量%以下である請求項1に記載の剥離剤。

【請求項4】

複数の基材が接着層を介して貼り合わせられた積層体を、請求項1~3のいずれか一項に記載の剥離剤に浸漬させる工程を含む積層体の分離方法。

【請求項5】

前記剥離剤の温度が20以上90以下である請求項4に記載の積層体の分離方法。

【請求項6】

前記複数の基材の一つと接着層との間にプライマー層を有し、

50

前記プライマー層が、ポリエステルポリオールと、ポリイソシアネートとを含む組成物の反応生成物であって、ポリエステルポリオールの原料モノマーとして芳香族ジカルボン酸を含み、（ポリエステルポリオールの原料である）芳香族ジカルボン酸由来の芳香環濃度が $1 \text{ mmol} / \text{g}$ 以上であり、エステル結合濃度が $1 \text{ mmol} / \text{g}$ 以上であり、酸価が $8 \sim 45 \text{ mg KOH} / \text{g}$ であるウレタン樹脂を水性媒体に分散させたプライマーの塗膜である請求項 4 に記載の積層体の分離方法。

10

20

30

40

50